

中経 論壇

経営支援NPOクラブ理事

中谷 兼武



されている。コロナ禍で私たちは多くの事を学んできており、数値の意味を正しくとらえ、今後の生活に活かしていくべきと考えている。

数値で示すことは、正確な情報伝達において重要なことである。数字は、客観性と具象性を持つっていると認識されているからである。しかし、数字の扱い方によっては、伝える内容の印象がかなり変わることがある。この原稿を書いている今日、北海道で1日の新型コロナウイルス感染者が200人を超えたことで、コロナ感染第3波襲来として、危機感が高まっているとの報道がな

連日、新聞、TVなどにより、国内の新型コロナウイルス感染者情報として、国内感染者数10万8千人、死者数1800人(11月10日現在)の数字の力により、新型コロナウイルスへの恐怖感、危機感を抱かせられている。これは新型コロナウイルスへの恐怖感、危機感を抱かせられている。この数字の力により、新型コロナウイルスへの恐怖感、危機感を抱かせられている。この数字の力により、新型コロナウイルスへの恐怖感、危機感を抱かせられている。

感染比率や統計的數字も把握を

コロナを正しく恐れる

一方、感染者数を率などの表示方法により、我々国民の受け止め方が異なる場合が多い。数字の魔力と云えよう。

スウェーデンでは、科学的エビデンス、数字的エビデンスに基づき、国民が長期に耐えられる、非ロックダウン政策を国民の賛同を得て推進しており、世界の注目を浴びている。コロナ感染波再襲来の欧州で、スウェーデンは感染数も低減傾向にあり、コロナ感染に対する懸念が和らいでいるようである。

また、我が国では1日当たりのコロナ死亡者数と全死亡者数の比率は1対370であり、このように示すと、統計的には大きな死亡要因になつていないと感じられる。報道される数字が、絶対値、比

今回のコロナ禍により、数字の魔力を改めて感じざるを得ない。特に、ものづくりに携わった経験から、仕事上で「絶対値管理」か「比率管理」かと判断に悩んだ頃が思い出される。日常生活で報道される数値に一喜一憂することが多いが、絶対値だけでなく、比率や統計的數字などでも事実・事象を把握し、コロナ禍を正しく恐れることが重要と思われる。